

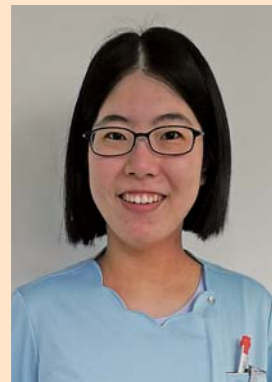
## 2021年度新入職員

- ①性格を一言で表すなら？
- ②趣味は何ですか？
- ③入職にあたり一言お願いします。抱負やアピールなど、自由にどうぞ



医師  
**本石 裕也**

- ①小心者
- ②食べること。カメラ。ジム通い再開しました。
- ③地域に根付いた医療を提供し、学びたいと思います。患者さんの生活を支える助けとなれるよう努力します。



専攻医  
**大野 渚**

- ①正直！
- ②音楽。時々演奏もします！
- ③患者さんによりそった治療ができるように頑張ります。



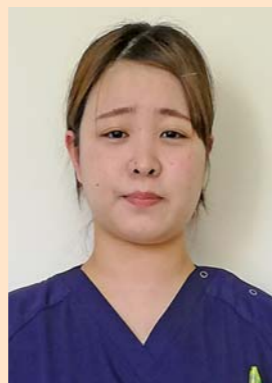
初期研修医  
**山脇 健司**

- ①半醒半睡
- ②ガーデニング
- ③少しでも上戸町病院の患者様の為に働けるよう一生懸命頑張ります。



看護師 / 2階病棟  
**柴田 絵理**

- ①感受性豊かと言われる。
- ②ピアノを弾くこと。家を見に行くこと。犬4匹インコ2匹と戯れること
- ③ずっと看護師になりたかったので、夢が叶って嬉しいです。患者様が安心できる存在になれるように頑張りたいと思います。



看護師 / 2階病棟  
**川淵 真紀**

- ①穏やか
- ②食べることやK-POP、ドラマを見るのが好きです。
- ③早く1人前の看護師になれるように頑張ります。これから宜しくお願いします。



放射線技師  
**辻田 亮**

- ①マイペース
- ②車、ギター
- ③中途採用ですが、新人として頑張ります！



管理栄養士  
**桑原日奈子**

- ①常に明るいねとよく周りに言われます。
- ②旅行、フィルムカメラ
- ③色々と至らない点があるかもしれませんが、宜しくお願いします。

## よろず相談会

### コロナ禍で困っている方など 多様な相談に対応

地域連携室 佐藤 泰智

昨年11月と今年の3月によるず相談会を開催しました。

当院からも医師、看護師、事務、SWと多職種で参加し、医療、介護、生活相談等多様な相談に対応させて頂きました。

コロナ禍の中、自営業の売上げが減り生活費に困っている方、医療費が心配で受診を躊躇されている方、誰に相談したらいいのかわからないと戸惑われている方がいる一方で、誰かと話したい、話を聞いてもらったらスッキリしたという方もいらっしゃいました。長期化するコロナ禍で求められる新しい生活様式の中で、地域や人との関係希薄化がさらに助長され不安を抱える方が多くいらっしゃる現状を目の当たりにし、地域の

医療機関としてこれまで以上に患者様やご家族、地域の方々、地域の協力機関等と連携を強化することの必要性を再認識しました。

なお、当院では、コロナ禍で困窮されている世帯向けに無料低額診療事業の適用拡大を行っております。お気軽にご相談下さい。



## ノーリフトケアの取り組み

3階病棟看護師 砥綿 倫代



医療、介護従事者の多くが腰痛を抱えていると言われ、当院のある病棟でも約7割のスタッフが腰痛に悩まされています。日本ではまだまだ、医療、介護従事者の腰痛を職業病、個人の問題として捉える風潮があります。腰痛の一番の原因とも言える“抱え上げ”これをなくすために実践していくのがノーリフトケアです。対象者の残存機能を活かし、適切な福祉用具を使用、作業姿勢を見直すことで安全にケアをすることが出来ます。上戸町病院では2019年にノーリ

フトケア推進会議を立ち上げ、ノーリフトケアに取り組んでいます。まだまだ模索状態で全職員への共有は出来ていませんが、徐々に福祉用具を取り入れています。昨年2名が日本ノーリフト協会主催のノーリフトケアコーディネーターベーシックプログラムを修了しました。今年度から本格的に普及するために学習会を行い院内全体にノーリフトケアを広め、抱えない看護・介護を実践していく予定です。腰痛=職業病からの脱却を目指していきたいと思ひます。